

(平成31年 2月分)

種 類	市況の概況
(水産物部の動向) 水 産 物 全 般	2月は安定して入荷があったことから総入荷量、総取扱金額ともに前年同月並みとなった。 3月はわかめ漁が最盛期を迎える。わかめは主に兵庫県、徳島県などから入荷する。生わかめは、がん発生抑制効果があるフコイダンを豊富に含んでいる。また、ほたるいか漁も始まり、富山県や兵庫県などから、ボイルされたほたるいかの入荷が増えてくる。生わかめやほたるいかは、旬の期間が短いため、お早めに御賞味いただきたい。
鮮 魚	鮮魚の入荷量、単価は前年同月並みとなった。 品目別には、天然物のまだいや鍋商材のたらは、水揚げ量が増加したため、入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。一方で、養殖ぶりや養殖ふぐは、生産量が減少したため、入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。
冷 凍 魚	冷凍魚の入荷量は前年同月比で8%上回ったが、単価は前年同月比で5%下回った。 品目別には、冷えび、冷ますの入荷が多かったことから、入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。冷さけは銀さけの大型物が入荷が多かったことから入荷量は前年同月を上回り、単価は上回った。
加 工 水 産 物	加工水産物の入荷量は前年同月比で8%下回ったが、塩さばが中小型物主体の入荷があったことや塩紅さけの海外需要の増加などから単価は前年同月並みとなった。 品目別には、節分用として需要が増加した塩いわしの入荷量は前年同月を上回り、単価は下回った。練製品、塩紅さけの入荷量は前年同月を下回り、単価は上回った。

※鮮魚には、貝類、淡水魚を含む。

主要品目	市況の概要
(鮮 魚) ま あ じ	三重，長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で１１％上回り，単価は２６％下回った。
ま い わ し	千葉，鳥取，三重で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で５％上回ったが，節分による大型物の需要の増加から単価は１９％上回った。
さ ば	三重，長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で４５％上回り，単価は１３％下回った。
す る め い か	長崎，富山で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で１７％下回ったが，良品物の入荷が少なかったことから，単価は前年同月並みとなった。
太 物	総入荷量，平均単価ともに前年同月並みとなった。
よ こ わ	長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で２７％上回り，単価は１２％下回った。
ぶ り	鹿児島，長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で，入荷量は前年同月比で８％下回り，単価は８％上回った。

※太物：まぐろ，きはだ，めばち

主要品目	市況の概要
(冷凍魚)	
冷 さ ば	入荷量は前年同月比で１０％上回ったが，中小型物のお荷から単価は前年同月並みとなった。
冷 する め い か	入荷量は前年同月比で５５％上回ったが，端境期の減産に備えたことから単価は１３％上回った。
(加工水産物)	
塩 さ け	入荷量は前年同月比で５％下回り，単価は１１％上回った。
す け そ う こ	入荷量は前年同月比で１９％下回り，単価は１０％上回った。